

令和 7 年 9 月吉日

各 位

医療法人社団 聖仁会
理事長 戸谷誠二

ご案内

庄原市委託事業「第 22 回認知症講座」

拝啓

残暑厳しいこの頃ですが、みなさまには益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当法人に格別のご厚情を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

聖仁会では、介護部門開設時より今日まで、「認知症になっても、障害を持っても、最期まで、人としてあたり前の暮らしを営むことができるように」と様々な取り組みをしてまいりました。中でも庄原市委託事業「認知症講座」は、一貫して「認知症」をテーマにし、全国でご活躍の著名な先生方にご講演をいただいています。本年は第 22 回を数えますが、ひとえに市民のみなさま、庄原市のお力添えのたまものと深く感謝申しあげます。

さて、本年は別紙の通り開催致します。みなさま、お誘いあわせてご参加いただきますようご案内申し上げます。

本年の講座、第 1 部講師は元厚生労働省参事官石黒秀喜様です。石黒様は介護保険制度創設準備期から介護保険制度に携わってこられました。その一方、若い時から現在も、近所の高齢者施設でボランティアを続けておられます。さらには義母様の認知症や、介護する義父様の日常生活を身近にされたことから、早くから「自分らしく生きるための備え」の必要を伝えておられ、著書「上手に老いるための自己点検ノート I」は 2011 年に初版が刊行されています。

第 2 部は、たとえご自身や身近な方が認知症になっても「自分らしく生きる」ための「備え」の必要について、石黒様、お馴染みの認知症の専門家とご参加のみなさまを交えての話し合いです。大切なテーマを、明るく、前向きに話し合っていたきたく思います。

認知症は誰もがなる可能性があります。

庄原市が日本のどこよりも、「安心して認知症になることができる町」でありますようお願い計画いたしました。多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

末筆ながら、皆さまのますますのご健勝とご多幸をお祈りいたします。

敬具

「認知症・自分のこととして」

誰もがなる可能性のある認知症。自分、家族、友人、近隣者として身近なことです。みんなが明るく、元気に年を重ね、庄原市が日本一「安心して認知症になれる町」となるよう願っての講演会です。「認知症」をより深く理解して、たとえ認知症になっても「自分らしく生きるための備え」をしましょう。わかりやすく、明るくお話くださいます。みなさまお誘いあわせてご参加ください。

第一部 「明日に備える」 講師 石黒秀喜氏

元厚生労働省大臣官房参事官。現在は認知症の人と家族の会東京都支部世話人、JDWG 日本認知症本人ワーキンググループ賛助会員他。介護保険制度に創設時より携わる一方、義母の認知症や介護する義父の生活を身近にしたことから、「生き方・老い方」など、自分らしく生きるための「備えの必要」を提唱している。著書「上手に老いるための自己点検ノートⅠ～Ⅳ」でわかりやすく解説。

第二部 「みんなで語ろう」

シンポジスト 石黒秀喜 氏（元厚生労働省参事官）

和田行男 氏（（株）大起エンゼルヘルプ 取締役）

コーディネーター 町永俊雄 氏（福祉評論家・元 NHK エグゼクティブ

アナウンサー）

日時) 令和 7 年 10 月 18 日(土) **入場無料**

13 時 30 分～16 時 00 分

場所) 庄原市民会館 大ホール

第 22 回 認知症講座 後援団体

- * 庄原市老人クラブ連合会 * 庄原市社会福祉協議会
- * 庄原市民生委員児童委員協議会 * 庄原市医師会
- * 庄原市自治振興区連合会 * 庄原市歯科医師会
- * 庄原市地域女性団体連絡協議会 * 中国新聞社
- * 庄原商工会議所 * 一般社団法人 庄原青年会議所
- * 庄原ライオンズクラブ * 認知症・自分ごとの会「これから」
- * 公益社団法人 庄原法人会 * 庄原ロータリークラブ
- * 注文をまちがえるレストラン実行委員会（庄原）
- * 庄原市訪問看護ステーション連絡協議会
- * 庄原市介護支援専門員連絡協議会
- * 庄原市グループホーム連絡協議会

（順不同・敬称略）